〔一〕　第四千六百八十三號　〔金曜日〕　昭和十一年七月二十四日　仙臺新城新聞　〔一〕
〔醫界二十二番第三種郵便物認可〕

炭を起せぬ父子

吾乍ら微苦笑日記

赤井嶽男

火を用ふる事を知つてる處が人間の他の動物に較べを造る程炊事が堪能で且て最も顯著な相違點である好きな二男とは打つて變つてならば、火を起すことの實に下手な自分は、動物とのに下手な自分は、動物とのでは良くも自分にそつくり距離が人並に遠くないと云な長男だつたから、直に困ふ結論が生み出されるのでつたのが晩酌をつけるのに餘り顧盼自ら雄として人間必要なお湯であつた。而もを誇負する資格が無いわけである

×

七、八年前助川に居た頃明日に解放された日曜を控亡妻が一晩泊りで平へ出て來た留守中、いま中學の二ろ土曜日の晩乍ら冷や酒年に居る——その頃尋常一年であつた——長男を學校へ出して遣るのに、幾ら飯炊きか出來ない自分にせよせめて冷飯に湯位は掛けて喰べさせねばならぬと思つて、新聞紙や折箱をどつさり燃やし乍ら盛んに煽いだが炭は薩張り赤くならず、家ぢうを煙にした揚げ句小半時もかゝつて辛つと藥罐がチリ〳〵鳴り出した——と云ふ苦い經驗から爾來今日迄火起しは遣らなかつた

×

先週の土曜日、餘りの暑さに三人の子供を連れさして夕方から家内を小名濱の親戚へ遣つた。處で留守番として自分と共に殘つたのが、氣さい向くと寒中でも暗いうちに起き出して台所で最も顯著な相違點である好きな二男とは打つて變つてならば、火を起すことの實に下手な自分は、動物とのでは良くも自分にそつくり距離が人並に遠くないと云な長男だつたから、直に困ふ結論が生み出されるのでつたのが晩酌をつけるのに餘り顧盼自ら雄として人間必要なお湯であつた。而もを誇負する資格が無いわけである

×

七、八年前助川に居た頃明日に解放された日曜を控亡妻が一晩泊りで平へ出て來た留守中、いま中學の二ろ土曜日の晩乍ら冷や酒年に居る——その頃尋常一年であつた——長男を學校へ出して遣るのに、幾ら飯炊きか出來ない自分にせよせめて冷飯に湯位は掛けて喰べさせねばならぬと思つて、新聞紙や折箱をどつさり燃やし乍ら盛んに煽いだが炭は薩張り赤くならず、家ぢうを煙にした揚げ句小半時もかゝつて辛つと藥罐がチリ〳〵鳴り出した——と云ふ苦い經驗から爾來今日迄火起しは遣らなかつた

×

先週の土曜日、餘りの暑さに三人の子供を連れさして夕方から家内を小名濱の親戚へ遣つた。處で留守番として自分と共に殘つたのが、氣さい向くと寒中でも暗いうちに起き出して台所で最も顯著な相違點である好きな二男とは打つて變つてならば、火を起すことの實に下手な自分は、動物とのに下手な自分は、動物とのでは良くも自分にそつくり距離が人並に遠くないと云な長男だつたから、直に困ふ結論が生み出されるのでつたのが晩酌をつけるのに餘り顧盼自ら雄として人間必要なお湯であつた。而もを誇負する資格が無いわけである

×

七、八年前助川に居た頃明日に解放された日曜を控亡妻が一晩泊りで平へ出て來た留守中、いま中學の二ろ土曜日の晩乍ら冷や酒年に居る——その頃尋常一年であつた——長男を學校へ出して遣るのに、幾ら飯炊きか出來ない自分にせよせめて冷飯に湯位は掛けて喰べさせねばならぬと思つて、新聞紙や折箱をどつさり燃やし乍ら盛んに煽いだが炭は薩張り赤くならず、家ぢうを煙にした揚げ句小半時もかゝつて辛つと藥罐がチリ〳〵鳴り出した——と云ふ苦い經驗から爾來今日迄火起しは遣らなかつた

×

先週の土曜日、餘りの暑さに三人の子供を連れさして夕方から家内を小名濱の親戚へ遣つた。處で留守番として自分と共に殘つたのが、氣さい向くと寒中でも暗いうちに起き出して台所で最も顯著な相違點である好きな二男とは打つて變つてならば、火を起すことの實に下手な自分は、動物とのでは良くも自分にそつくり距離が人並に遠くないと云な長男だつたから、直に困ふ結論が生み出されるのでつたのが晩酌をつけるのに餘り顧盼自ら雄として人間必要なお湯であつた。而もを誇負する資格が無いわけである

×

七、八年前助川に居た頃明日に解放された日曜を控亡妻が一晩泊りで平へ出て來た留守中、いま中學の二ろ土曜日の晩乍ら冷や酒年に居る——その頃尋常一年であつた——長男を學校へ出して遣るのに、幾ら飯炊きか出來ない自分にせよせめて冷飯に湯位は掛けて喰べさせねばならぬと思つて、新聞紙や折箱をどつさり燃やし乍ら盛んに煽いだが炭は薩張り赤くならず、家ぢうを煙にした揚げ句小半時もかゝつて辛つと藥罐がチリ〳〵鳴り出した——と云ふ苦い經驗から爾來今日迄火起しは遣らなかつた

×

先週の土曜日、餘りの暑さに三人の子供を連れさして夕方から家内を小名濱の親戚へ遣つた。處で留守番として自分と共に殘つたのが、氣さい向くと寒中でも暗いうちに起き出して台所で最も顯著な相違點である好きな二男とは打つて變つてならば、火を起すことの實に下手な自分は、動物とのでは良くも自分にそつくり距離が人並に遠くないと云な長男だつたから、直に困ふ結論が生み出されるのでつたのが晩酌をつけるのに餘り顧盼自ら雄として人間必要なお湯であつた。而もを誇負する資格が無いわけである

×

七、八年前助川に居た頃明日に解放された日曜を控亡妻が一晩泊りで平へ出て來た留守中、いま中學の二ろ土曜日の晩乍ら冷や酒年に居る——その頃尋常一年であつた——長男を學校へ出して遣るのに、幾ら飯炊きか出來ない自分にせよせめて冷飯に湯位は掛けて喰べさせねばならぬと思つて、新聞紙や折箱をどつさり燃やし乍ら盛んに煽いだが炭は薩張り赤くならず、家ぢうを煙にした揚げ句小半時もかゝつて辛つと藥罐がチリ〳〵鳴り出した——と云ふ苦い經驗から爾來今日迄火起しは遣らなかつた

×

先週の土曜日、餘りの暑さに三人の子供を連れさして夕方から家内を小名濱の親戚へ遣つた。處で留守番として自分と共に殘つたのが、氣さい向くと寒中でも

童話　魔物を食べた木馬

阿部賴俊

七

『出來たぞ〳〵あゝ嬉しいな、そうだ、若しか魔物が勝てない時は二人で死ねの村端れの眞夜中に誰かやつて來たのか、威勢のよいバカバカ蹄の音と、ヒーンとまちがひのない馬の嘶きが聞えました

太郎さんは、繪具に自分の血を混せて木馬の身体中に塗りつけ

『木馬よ、お前は僕達の片身だよ。もし僕達魔物殺されたら、王子樣のお傍で僕達の事を何時でも話てお呉れよ』

と、生きてる人間にものを言ふ樣に言つて二人兄弟が床に入つた時、この淋しい村端れの眞夜中に誰かやつて來たのか、威勢のよいバカバカ蹄の音と、ヒーンとまちがひのない馬の嘶きが聞えました

太郎さんは、繪具に自分の血を混せて木馬の身体中に塗りつけ

『木馬よ、お前は僕達の片身だよ。もし僕達魔物殺されたら、王子樣のお傍で僕達の事を何時でも話てお呉れよ』

と、生きてる人間にものを言ふ樣に言つて二人兄弟が床に入つた時、この淋しい村端れの眞夜中に誰かやつて來たのか、威勢のよいバカバカ蹄の音と、ヒーンとまちがひのない馬の嘶きが聞えました

太郎さんは、繪具に自分の血を混せて木馬の身体中に塗りつけ

句帳から

青喬

蚊柱や十藏の前の茗荷畑
空梅雨や茄子の根本へ敷藁す
新らしき蚊帳吊りて二階睡り放つ子
蟬鳴くや木隱れ見ゆる青胡桃
足はへし蜥蜴に見とれゐたりけり
蜻蛉や嫁突に發る人あり早雲
行水や街のネオンのはろかなる

七月題詠

一、青
一、蟬　一、飲隨意

締切七月二十五日

霞

高田童孝

朝は早よから馬草を刈りにかすむ山路をホイ〳〵と
駒の背で行く吾子の聲
朝餉支度に母手をやめて吾子はまだかといで見れば
裏の枝折戸花盛り

7月24日

△名人算砂伏見城に宗柱と將棋手合（元和三）△竹内式部入獄（寶暦八）△闘犬を禁ずる（寶暦八）△橋本左内生る（天保五）△大塩平八郎の亂（天保八）△ペリー浦賀に來る（嘉永六）△五・一五海軍玄關に立つた側公判開く（昭和八）△土用丑の日（同一〇）

小說

高橋是清

(73)

松浦泉三郎作

佐々木今朝吾畫

あそびの味　(三)

和喜次を奥へ招じて、依頼の筋を聞き終つた時、福井屋數右衛門は、商人らしい狹猾さを、ちらと口許に浮べながらも

『失禮ながら少々お考へがた若いと存じます。御無用になすつたら如何樣で…』

と、一應は言つた。が

『宜い。強いて頼む』

と、和喜次に言はるゝと、

『では萬事お計ひ致しませう。お刀も着物もお任せ願ひます。それから、御返禮の日取りは、もう年内々は無調法……』

『橋先生、何ぞ隱し藝を一ツ』

和喜次は苦笑した

『悩めてはいかんな。藝事は野暮に以たり、無調法などとはお口の先だけで、前共が對手では不足——これが御本心ならば恨みはなかつた

數日の後、和喜次は三人を突然訪れた。三人は怪訝な表情　迎へた、と、懐中手をした儘　和喜次が言つた

『行かう。少〳〵今日から野暮に磨をかけては呉れぬか！』

『貴樣常盤津では不足だぞ』

『では踊りませうか』

『せんまい仕掛けの人形振りか』

『まツ、しづい！』

『あツ！』

『何がお望み？』

『飽くまで身代りを望むのか』

『望んぢや惡い』

『怪しいぞ。貴樣は浮氣性だからな。どうやら先生に……』

『あちきやとうから惚れんした。どうなとして呉んなましえ』

『こいツ！』

『アツハツ……』

『ホツホツ……』

他愛がなかつた

その夜は無事に引揚げた和喜次は、さうした脂粉の社會を蔑んだ。穢れたものだと泌々感じ、嫌惡したが、嫌惡を感ずる事と、あそびの味とは、自から異るものがあつた。和喜次としては、初めて知つたあそびの味だつたし、つい思ひ起し、自然　誘引されぬ筈

小店員入用

御希望の方は當店迄御申下さい

平驛前

阿部石炭商店

電話三十七番

夜診

胃腸病性病

内科
胃腸病科
花柳病科
性病科
皮膚科

專門

松村醫院

胃腸病性病科

（平町南町電一〇七番）

時代の要求皆樣の足!!

尼子タクシーへも

豆タクが入りました。

御支關から玄關へ…迅速簡便

是非御利用を……。

市内…三〇錢　市外…四割引

流線型セダン、大型貸切バス

営行は直通は二丁目尼子自動車部より發車いたします。

平町二丁目

尼子自動車商會

電話六四〇番

雨の日の活躍は敷島の雨具で

●絶對防水を誇る！
●防水完備の雨具は專門店

作業用　モヂリ
強ゴム　マント
各種雨覆シート、レーンハット（防水帽）
自轉車用前掛、其他雨具一切
防水布製品專門製作

敷島テント店

平・六丁目

植田の新名所

鮫川川口に位置し四季の風光に富み眼下に太平洋を見晴し、白砂に綠の松林は實に天下の絶勝地の定評あり又海水浴として最も便宜安全の位置にある兩者相揃ふた鴨の湯鑛泉へ！

常磐線植田驛下車

……鴨の湯鑛泉……
……海水浴旅館……

臨海館

植田町より十餘丁（自動車ノ便アリ）

鮫川橋より當館迄は（モーターボート）の連絡貸ボートあります

X光線科整形外科

平町才槌小路四

大河内外科整形醫院

醫學士　大河内一郎

電話五八八八

吸入間歇電氣

純度99%

鬪內藥局

電話四〇番

度量衡

モノサシ
マス
ハカリ

計量器

体温器
寒暖計

◎秤ノ取扱ひ
◎絲・糸・修復致シマス

お醬油は……ヤマフル

醫屋

山崎合名會社

福島縣平町

電話（營業部一〇番　本店二七番）

明治生命磐城代理店　山崎與三郎

メガネは正確にして廉價

最新式各國製レンズ

眼鏡

豊富に取揃へて御座います

（亂視用眼鏡卽時調製）

根本時計店

平町二丁目　電話六〇七

平町南町五二

根本産婦人科醫院

根本莊次郎
根本貞雄
電話三四番

（手術室完備　入院隨時）

平町南町一六番地

大和田醫院

耳鼻咽喉科專門

電一七〇番

（入院隨意　病室完備）

各方面主腦部を網羅 平町防護委員會設置 明後廿五日具体案協議

大空を護る

今秋九月全縣下に亘つて實施される防空演習を前に平町でも『防護委員會』を設置する事となり明後二十五日午前八時から町會議事堂でこれが設置に關し協議する

當日は警察署長、消防組頭、町議、青年團長、小學校長、電氣會社、在鄕軍人聯合分會長、同平町分會長、郵便局長其他各種團体首腦部を網羅、平町非常變災要務規約等を設定して着々『護れ大空』の準備を進める事となつた

。。。。。防空演習會議 菊多方部

各町村の兵事主任は今秋の防空演習に關し來る卅一日平商業學校に於て開催さる協議會に出席する筈

折戸埋立地 江名町編入

江名町大字折戸地先公有水面埋立地三千二百八十坪は江名町の區域に正式編入された

市制實施に伴ふ 農村經營の懸念 反對議員の主張點

平窪村

市制施行を急ぐ平町の被合併村中最有望を目されてゐる平窪村では田植直後合併の諾否を決定する最後の村會を招集する筈であつたが、既報の如くこれに對する『村民の聲』も贊否兩論に分れ今以てその態度を決し乘ねて居るので平町では來る二十六日舉行される平橋の竣功式に際し更に交渉を進める事となつたが、同村の議員中過般の先進地視察によつて生じた反對の主張點は

將來市農會となつた際果して現在以上に農村經營の實績があがるかどうか

先進地の中には豫算はとつて居ても一向實績が舉つてゐない地方も大分あつた

反對民にはこれが合併によつて純然たる農村精神が漸次都會化して行くのを懸念して居るものもあるので今後交渉の成行きが注目されてゐる

炎天下に躍る＝ 大會出場 磐女選手決定 來る卅日勇躍福島へ

縣下女子中等校体育大會は既報の如く來る三十日福島市内各所で開かれるが、磐城高女では各部選手を左の如く決定した(括弧内學年)

△競技 六十北鄕春枝(二) 百比佐道子(四) 二百馬目喜久與(二) 走巾五十石剛子(三) 走高薄葉ヒサ子(三) 三段木村トシ(三) 籠球投高橋知(四) 三種織田芳枝(三) 四百繼走比佐、木村、薄葉、五十石 八百繼走比佐、木村、馬目、五十石 其他吉田敏子、村田良子、長谷川スミエ、野澤登記枝大須賀ツネ、阿部直子

△庭球 大將組鶴山廣子、渡邊萬里子、中村春子(四)—熊トリ子(四) 副將組田村まり子(四)—村井廣子(四)其他田子トク 今田操 中村茂 本多サダ

△籠球 F鶴部トシ子(四) F大泉美智子(四) C飯村テフ(四) G新妻セイ(四) G花澤ツヤ子(四) 其他桑原ハツノ 北村琴子 長瀨増子 長瀨喜美 志賀勝代

△排球 前衛應マス(四) 正木千鶴子(三) 同立花キミ(四) 中衛江川照子(三) 同鈴木キヨ(四) 後衛館岡富子(三) 同島しげ(四) 同菊池テツ子(四) 同吉田久美(四) 其他福田千代子 石井喜美 鈴木トヨ 大泉けい子 早川チカ

。。。。。柴司法主任出發

三春署管内常葉派出所に轉じた平署司法主任柴一枝氏は來る二十七日午前十一時十分平發で赴任する

村の概況を調査し 計劃樹立に進む 更生村川部の意氣込み

今年度經濟更生村に指定された川部村では愈よ計劃樹立に邁進する事となり昨二十二日午前十時から同村小學校に第一回委員會を開いた結果、先づ基本調査事項として

村の概況、土地、人口、戶口、職業別勞力の分日過不足、肥料、主なる生産、販賣額を舉げ、これらを來月十配迄調査し四月三十一日迄集計を完了する事となつた、尚第二回委員會は今秋十月一日であると

錦村八坂神社例祭

錦村中田の八坂神社例祭は來る三十一日執行するが本年は七年目毎に行ふ村廻り大祭で又人絹會社復興の關係もあり地元村民の色々な催しで今から盛況を豫想されて居る

。。。。。鹿島部落例會

鹿島村米田部落の例會は今二十三日の二宮尊德翁命日に際し午後一時から村役場に開いた郡農會柴田技手講演

一沫の寂しさを見せ 石炭發送高珍しく減 今月中旬の赤字統計

引續きの發送增加、石炭景氣のカロリー上昇こそ灼熱の眞夏に於て一層凉味萬斛の快ニュースたるを失はぬが去る十一日以降二十日迄の常磐各山元發送高は少量作ら近頃に於て始めての赤字を見せた、即ち之の期間の發送統計によると

營業用—三、七七七車四二、一六七瓲 省用—一二〇〇車一五、一七八瓲 合計—四、九七七車五八二九瓲

で前年同期に比し

營業用(增差)一九三車八五〇瓲 省用(減差)一三〇車二、〇七一瓲

差引車數に於て六十三車の增に反し數量は千二百七十一瓲の減と云ふ近來稀らしい結果を示したが前中旬を通算すると尚は四百三十七車三千四百二十瓲の增となつてゐる

。。。。。小濱港視察

廿二日午前十時縣廳土木課熊谷技師來植小濱漁場及築港工事現場を視察した

人命救助 表彰

廿二日石城郡入遠野村折笠隆千代(三〇)は去る五月十四日同村佐藤みよ子(一〇)が入定川の板橋を通行中誤つて轉落溺死せんとしたるを發見救助した廉により此程其筋から表彰された

豚丹毒豫防注射

郡下に於ける豚丹毒豫防注射日割左の如く決定(括弧内豫定頭數)

平八月三—六日(一二五) 四倉六—八日(三〇〇) 大野九日(三五) 大浦十—十一日(一〇〇) 草野十二—十三日(七五) 神谷十四—十五日(八四) 夏井十六—十七日(五〇) 平窪十八—二十日(一六五) 好間廿一—廿三日(一五〇) 內鄕廿四—廿七日(三二五) 高久廿八—廿九日(六五) 豐間卅—卅一日(七〇) 植田七—十一日(三三六) 錦十二—十五日(一〇〇) 勿來十六—廿日(三六〇) 川部廿一日(六〇) 山田廿二—廿三日(一〇〇) 渡邊廿四—廿五日(九〇) 泉廿六—廿九(一八〇) 磐崎卅—九月二日(一六〇) 湯本三—七日(一八〇) 上遠野八—十日(一〇〇) 江名一—三日(二六〇) 小名濱四—七日(四一〇) 玉川八—九日(五〇) 鹿島十日(三〇)

縣下中等 野球大會成績

保原 9A—4 双葉
若商 4—1 白河
(以上福島市營球場)
相馬 12—8 石川
郡商 0—10 積中
(以上同師範球場)

平商對喜多方中學は午後一時半から師範球場で行つた

	一	二	三	四	五	六	七	八	九
喜	1	0	0	1					
平	2	1	0	3					

ガソリン引火爆發 坑口に焰漲る 上遠野で重輕傷四名

上遠野村大字瀧字芦の草所在瀧澤七郎氏經營磐城無煙炭鑛で昨二十二日午後七時頃どうしたはずみか坑口附近に置いたガソリン罐が突如引火爆發して附近一面火の海となり、折柄引揚げ際の從業員中

(重傷)瀨谷正入(一九) 洞口繁衛(三七) (輕傷)滿崎勇衛(六一) 根本千代吉(五三)

の重輕火傷者四名を出し現場に居合せた一同が必死消防の結果間も無く鎭火、怪我人は直に植田町前田醫院に收容手當中であるが、重傷二名の豫後を氣遣はれてゐる、因に同鑛は操業に支障無く平常通り出炭して居ると

夜のダニ 再た跋扈し初めた 不良團一齊退治 植田署活動を開始す

植田警察署では最近植田町を中心に惡辣な暴力團擬きの不良が横行し初めたので之れが一掃を期すべく徹底的暴力團狩りを決行する事となり廿一日より久和署長指揮の下に夫々活動を開始したのでどうやら鮫川橋附近の夕凉みも安心して出來ると各方面から喜び迎へられてゐる

途中周旋人を捲き 三百圓の酌婦逃る 懸賞付きで搜索中

千葉縣八日市場町料理店和田屋抱酌婦東京市芝區田村町正太郎妻酒井勝子(二五)は去る二月平町田町周旋業神谷濟助氏と共に平町方面に鞍替への途中千葉縣我孫子驛より神谷氏を捲き前借金三百圓を踏倒して逃走したので目下賞金三十圓で搜査を進めてゐると

夏の夜を騷がす不屆者奴! 。。。。。昨夜檢束された二人男

夏の夜を騷かした檢束二人男——昨夜九時頃平町長橋町地內で『俺は世界中で一番强い男だ』と通行人に難癖をつけてゐる男を附近民が見かねて平署に突き出した

茨城縣鹿島郡諏訪村生れ田口新吾(二七)で調べた處、何と精神異狀者、も一つは同夜八時頃大工町地內で泥醉暴行を働いてゐた神奈川縣高座郡藤澤町生れのルン公山口乘吉(四九)で直に豚箱入り

。。。。。過傷運轉手に卅圓

江名町仲ノ作字長田自動車運轉手鈴木玲二郎(二八)は四月十四日トラックを運轉して湯本町三函地內國道を北進中不注意から道路を横切らんとした同所鈴木澄子(一八)に衝突、左手左足に治療約十日を要する打撲傷を與へ且つ屆出を怠つたが此程平區より略式罰金三十圓に處された

銷夏篇 ………(6)………

羽化登仙の氣分を 男に惠む女 實際あつた獵奇話

本邦少壯の戲言に『色の黑きは味うまし』と云ふ言葉がある。次は支那の話＝だが元の昔至正二十年、大いに天下饑ゑ平素劉哈剌不花の兵食にことを缺くやうになつたので止むを得ず、李仲義と云ふ男を引っ捕へてこれを煮て皆して喰はうと云ふ間一髮の折、驅け込んで來たのが李仲義の愛妻であつた。彼女は息せき切つて訴へた

『我夫痩小にして食に堪えず、吾聞く女の肥て色黑きものは味美しと、即ち吾肥て黑し、願くば我を煮て夫を助けよ』そこで餓鬼共はその女を哀れと思つたが已むを得す肥ねて色黑きその人妻を煮て喰つて了つたといふ。

色黑き女の味美し、とはこの舌によれる味なりや

云々

○

右に關する眞僞の穿鑿は姑らく措き、別段色の黑かつた話は聞かぬが、接した男をして悉く凡そエクスタシーの境地に飛らせずには置かぬと云ふ斷然超特異的存在の女性があつた。而も極めて先天的に惠まれた幽玄微妙な機能を有し乍ら、物騷なお定のサダイズムなんか鶏の毛程も無いんだから、餓つ腸ち昨今の暑熱に遭つた安ものの鋪裝よろしく、脆くもどろ〲に溶解して夢魂を遠く天外にホームランせざるを得なくなつて來るとある

○

時。現代のつい先頃

場所。アマゾン河流域(阿魔で損した人あるので此名あり)

實は二、三丁目と南町の中を流るる滯つぷちのさる家に居た一人の所謂夜鶯、名は聞き洩らしたが相馬郡××村の生れ。斷じて實在つ

○

世にも嬉しい噂はそれから其れへと電波の如く傳はつて、其店は每夜々々一度その羽化登仙の光榮に浴せんとする志願者の群で格子先に市をなす有様であつたが、之に全熱情を總動員した附近某農村の馱々息子によつて、恐らく空前にして絕後なるべきこの名花は惜や若千の黄白で根引きされて了つた。暗の女豪華版事實譚である

。。。。。袁玄道にお灸

左記十名は一月以降數回に亘り磐崎村白鳥吉田屋その他で賭博開張、平區より頭書の如く略式命令された

罰金七十圓—湯本町石畑野菜行商馬上榮一(三六) 同六十圓—同町天王崎野菜商富岡貫(三八) 同三十圓—同町野菜行商川崎廣一(三七) 同二十圓—同町天王崎煉瓦職工松原兼治(四七) 同鷺末吉(五三) 同町關船海老原清之助(三七) 同町八仙坑夫菅野富(三三) 小名濱町無職馬上ハル(三〇) 磐崎村白鳥龍ケ崎煉瓦職工伊藤逢吉(三三)

運ちやん家出

茨城縣多賀郡松原町高萩自動車運轉手滑川昇平(二五)は去月上旬家出したが最近郡内で

天氣豫報 小名濱測候所觀測

今晩は南の風曇雨模樣
明日は南の風驟雨模樣

二十四日 (小名濱測候所發表)

日出 四、三八 月出前 九、五六
日沒 六、四八 月沒後 九、二九
滿潮前 六、二五 干潮前 一、〇五
後 七、二五 後 〇、四五

社告

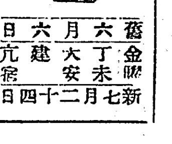
植田支局通信員 鈴木秀壽

自今菊田方部の通信及營業事務を擔當せしむる事になりましたから宜敷御支援を願ひます

各位

磐城新聞社

舊六月六日 丁未 大安 建 亢宿 金曜 新七月二十四日



諸判定應需 東京市本鄕區湯島四丁目 高島易斷總本部 神讖館

▲一白 決斷力を失ひ手に取るべき物も取れざるに▲二黑 心靜かに成行に任すが安全新計畫は失敗す▲三碧 愼重なれば過ち無く福德自ら廻り來るべし▲四綠 自己の分限を堅く守るべし口舌爭論注意▲五黃 他事に手を出す時は損失をかうむる又飲食注意▲六白 定業を大切と勵むべし證文の間違火難警戒▲七赤 家道大に繁榮すべく將來計を立つるのに吉▲八白 何となく氣の沈む日正道を守り直進すべし▲九紫 妨害散じて良好に向はんとする日奮起大吉

おぐゐ樣
お蔭をもちおでんは大評判!
皆樣のいつも變らぬお心入れほんとに有難ら存じます。
味は素的!
爽・芳醇味豐かな、眞のビールの醍醐味は
樽詰 サッポロ生ビール
によつてのみ會得出來ます。
(準備の都合上七月二十四日より始めます)
小料理おでん 一平 電二六三

躍進途上ノ植田町ニ
愈々來ル七月廿六日開業
公認 合資會社 植田魚市場
毎日開場 午前四時ヨリ
常磐線植田町 電話一四五番
電略〇ウ 植田私書函一二號

紙上を以て暑中御見舞申上ます
電線工事に對し長年御引立蒙り日增し仕事も多忙に相成り候段、各位の御聲援と乍蔭奉深謝居ます。
昨今御承知通り電氣工事に對し電氣工事人の試驗等が加へられ、今迄の樣に會社の試驗が通れば良いと云ふのでなく電氣用品電線其他一般器具も一等級電線を使用しなければ永く安全を保つ事が出來ないのであります。私し共は今迄も良品を使用して居りましたが、より以上、新しき最上品を使用し、皆樣の安全を期する爲、努力致す次第であります。
先は酷暑中皆樣御身御大切に御禮旁々御挨拶迄 敬白
平町新川町大町通り
木村電氣商會 木村久彌
電話一七九番

內外 建築材 建具材
入 阿部材木店
磐城國平町(公園下)
阿部好利
電話四九四番(改メ)